

令和7年度

秋期営農座談会を開催しました

J Aは9月3日から9月11日にかけて、管内94会場で「令和7年度秋期営農座談会」を開き、営農部門が実施する事業のうち重点事項を中心に最新情報をお伝えしました。

今回は、座談会で組合員の皆さんからいただいたご質問やご意見の一部と、それらに対するJ Aの回答をお知らせします。

ご意見

概算金を早く発表したこと、その金額について評価します。

ありがとうございます。今後も、組合員の皆さまの農業経営に貢献できるよう努めてまいります。

ご質問

昨年までと比べて、概算金からJ Aが控除する金額が多いのではないのでしょうか？

J Aが控除する販売手数料は定率のため、販売単価の上昇に応じて上がる仕組みとなっています。それでも控除は最低限に抑えておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

ご意見

集荷を増やすために刈り取り時期の指導を強化した方が良いと思います。

指導会等で刈り取り時期の指導は実施していますが、地域や品種によって取り組みの度合いにばらつきがあったため、ご指摘を踏まえて来年度以降周知を強化してまいります。

ご質問

カントリー利用料の値上げについて教えてください。

来年度からの値上げを検討しておりますが、金額は未確定です。施設運営にかかる費用が増大しており、ご理解をいただきたいと思います。

ご意見

生産資材の注文締め切りが早すぎます。



早期に数量を把握することが、肥料や農薬の安定供給や単価を下げることに繋がるため、ご理解をいただきたいと思います。

ご質問

農業者減少についてJ Aはどのように考えていますか？

高齢化や後継者不足などは国全体として抱える課題であり、J Aは各種支援や事業によるサポートで地域農業を支えています。また、農業の担い手が増えるような国の政策実現を要請してまいります。

今回いただいた貴重なご意見・ご質問を今後の事業運営に生かしてまいります。



J Aグループ
オリジナルキャラクター
「笑味ちゃん」

